

2024年度(令和6年度) 山行結果報告

行事	山行日			よみ 山名	山域 標高・難易度	参加人員			担当	備考
	年	月	日			男	女	計		
第 1回	2024	4	7(日)	いまくまさん 今熊山	奥多摩 505m、初級	7	19	26	平田 富田	武蔵五日市駅を起点に小峰公園を経てミツバツツジの咲き誇る今熊神社へ。ここから始まる登山道は階段やザレ場など標高の割に険しいところでした。サクラやハナモモを愛でながら五日市駅へ。
第 2回		4	20(土)	つばやま 坪山	中央線沿線の山 1103m、中級	4	15	19	石毛 永沼	入山者の多いことに驚く。バスの増便3本。ヒカゲツツジは終わりがけていたが、ミツバツツジは最盛期、芽吹いたばかりの新緑と相まって春の美を満喫。登山道は上級者向きだ。
第 3回		5	12(日)	てんもくさん 天目山	奥多摩 1575m、健脚	1	5	6	岸波(男)	年間計画は5/7(日)、雨のため中止。代替山行としてこの日に実施する。シロヤシオの最盛期のつもりだったがまだ早く、花は幾らも見ることが出来なかった。曇りで視界不良。
第 4回		5	26(土)	くろびやま 黒檜山	上州の山  1828m、中級	6	13	19	山浦 中村(匡)	生憎の曇り空、それでも多くの登山者とすれ違い険しい岩場を登ります。百名山は人気ののですね。少し小粒のシロヤシオが沢山咲いていて、最後に駒ヶ岳から大沼を眺める。
第 5回		6	8(土)	みつとおげやま 三ツ峠山	三ツ峠山周辺の山 1785m、上級	4	10	14	平田 中村(久)	河口湖駅からのバスの便が悪い。富士山眺望の山だが残念にも曇りの中でした。それにしても駅周辺、電車の中、山の上までも外国からの来訪者多数。
第 6回		6	19(水)	にゅうがさやま 入笠山	南アルプス前衛の  1955m、中級	3	15	18	中村(匡) 栗原	前日の大雨とは違って変わり、快晴のもと沢入登山口を出発。期待した入笠湿原の花は少し先のよう。山頂では申し分のない360度のパノラマを堪能出来ました。
第 7回		6	30(日)~7/2(火)	しらかみだけ 白神岳	東北の山 1232m、健脚	1	6	7	岸波(男) 平田	よりによって登山日の7/2だけが雨降り。全く眺望の無い山頂でした。悪天候の中長い長い行程を歩き切りました。翌日は晴天、十二湖を散策と五能線乗り鉄に分かれて観光。
第 8回		7	14(日)	かわのりやま 川苔山	奥多摩の山 1363m				山浦 大貫	雨天中止
第 9回		7	27(土)~29(月)	はくさん 白山	北陸の山 2702m	1	8	9	岸波(男) 石毛	中止の判断をしたのですが、雨天決行の強い要望で実施する。登りの28日は雨に会いましたが、山頂を踏む29日は晴れ間も出て池めぐりと沢山の高山植物を見る。
第10回		8	11(日)	きんぶさん 金峰山	奥秩父の山 2599m	5	12	17	中村(久) 邑上(加)	東京の猛暑を逃れて登った金峰山は、上り下りとも登山道を吹き抜ける風が心地よく正に別天地でした。ただ、天気が良すぎて山頂での昼食休憩は日陰を探さなければ。
第11回		8	24(土)	かさとりやま 笠取山	奥秩父の山  1953m				平田 大貫	雨天中止
第12回		9	8(日)	おおぎやま 扇山 市民体験登山	中央線沿線の山 1183m				永沼 山浦	雨天中止
第13回		9	24(火)	おおだけさん 大岳山	奥多摩の山 1267m	8	12	20	山浦 石毛	ケーブルカー御岳山頂駅を降りると小雨。雨具着用で出発する。思いの外きつい登山道を2.5Hで山頂着。眺望の無い頂きで昼食。不運にも御岳山に戻ると晴れ間出る。
第14回		10	6(日)~8(火)	あだたらやま 安達太良山	東北の山 1700m				栗原 岸波(男)	雨天中止
第15回		10	20(日)	たにがわだけ 谷川岳	三国山脈  1977m	8	12	20	石毛 岸波(男)	天神峠出発時みぞれ交じりの小雨が降り出す。紅葉は素晴らしいのだが、登山者多く立ち止まることもままならず。目指す山頂は雲の中、登頂を断念し天狗の留り場で引き返す。
第16回		11	2(土)	かやがたけ 茅ヶ岳	奥秩父の山  1704m				岸波(男) 栗原	雨天中止
第17回		11	17(日)	おおぼらやま/くさとやま 大洞山~草戸山	南高尾山稜 536m~364m	9	11	20	栗原 永沼	セブンスミツとの呼称はさもありなん。上り下りの連続。適当な間隔で休憩場所があり僅かに眺望、丹沢方面か。ザック掛けのある寝たベンチは小春日和で暖かい。
第18回		12	1(日)	しょうとうさん 生藤山	奥多摩の山 990m	5	13	18	中村(久) 平田	好天の中、気持ちの良い低山歩き。登山道は落ち葉に覆われ歩を進めるごとにカサコンと踏みしめる音。三国山から樹木の枝越しに真白き富士と南アルプスの一部を望む。
第19回		12	16(月)	くきさん 九鬼山	秋山山稜 990m	7	6	13	山浦	快晴だが空気が冷たい。石ころが落ち葉に覆われ足元が不安、注意して歩く。電車の中からも登山中も富士山がくっきりと見える。登山者少なく山頂を山の会が独占。
第20回		2025	1	せきろうさん 石老山	丹沢周辺の山 702m	8	12	20	中村(匡) 邑上(加)	曇りの予報が登山口で準備体操中に青空をのぞく。登山者少なくすれ違うのもまれ。シモバシラソウ多数見る。山頂での昼食もゆったりとれる。下山は急斜面、悔るなかれの石老山。
第21回		2	8(土)	じんばさん 陣馬山	奥多摩の山 855m	7	13	20	平田	今回も快晴に恵まれての山行。和田バス停付近から登り始め登頂後一尾根を下るコース。山頂に近づくと残雪が所々に。風の冷たい山頂からは富士山をはじめ抜群の眺め。
第22回		3	2(日)	しんざん 思親山	天子山地  1031m	7	14	21	栗原 中村(久)	身延線内船(うづな)駅近郊の源立寺を出発。車道を何度も横切り、稜線にたどり着くと正面に富士山が現れる。そこからの数十分、広々とした山頂で富士山を眺めながら昼食。
第23回		3	22(土)	こうしゅうたかお 甲州高尾山	甲州の山 1092m				大貫 石毛	登山口への車道通行止めで中止。
						91	196	287		

参加人員集計 男性84名 女性 182名 合計参加数 266名

会員外 男性5名 女性7名 計12名を含む(会員参加数254名)

※ 参加総人数は実施回数 16回 266名。

※ 一回平均の参加人員は16.63名(前年度は17.85名)

集計・制作 岸波勇雄 氏